

洪水ハザードマップ認知度向上や有効活用等に関する取組状況

機関名等	①洪水ハザードマップの認知度向上や有効活用等を行うための課題等(対応に苦慮していること等)	②洪水ハザードマップの認知度向上や有効活用等を行うための国への支援や協力等の要望	③洪水ハザードマップの周知方法				備考
			対象ハザードマップ	(a)全戸配布	(b)説明会	(c)インターネット公開	
秋田市	洪水ハザードマップについては、平成29年3月に全戸配布したものの、配布後に開催した洪水ハザードマップ説明会や防災講話等で確認したところ、ハザードマップが家のどこにあるかわからない、配布された時に一度みた程度という回答があり、今後、多くの住民に対し効果的に周知し、実際に避難に役立つようにするためにはどのようにしたらよいかということが課題である。	今後の洪水浸水想定区域の見直し等により、ハザードマップの更新する度に活用できる助成金制度を要望したい。	L2(最大)	○	○	○	
			L1(計画)	-	-	-	
横手市	・認知度向上のための講話等への講師派遣依頼が増加	・積極的な広報活動	L2(最大)	○	○	○	地元コミュニティFM放送を活用
			L1(計画)	-	-	-	
湯沢市	昨年度、地区版防災マップを作成し、全戸配布を行った。今後、防災講話や出前講座等の場を通じ、防災マップの活用等について周知を行っていくが、参加人数が少ないため課題となっている。	ハザードマップを活用しながら自ら避難計画等を作成するためのきっかけづくりとして、昨年度、湯沢河川国道事務所主催で開催したような「マイ・タイムライン講習会」や「避難確保計画作成講習会」を年に複数回実施してほしい。	L2(最大)	○	×	○	市SNSを通じて周知
			L1(計画)	-	-	-	
大仙市	自主防災組織版ハザードマップの作成について、各組織に対する効果的な作成指導と、必要性の認識を浸透させること。	ハザードマップの作成及び自主防災組織版ハザードマップ作成促進に係る財政的な支援	L2(最大)	○	×	○	自主防災組織版ハザードマップの作成
			L1(計画)	-	-	-	
仙北市	来年度、ハザードマップを作成をはじめ、完成後全戸配布を行う。避難訓練や防災講話で周知を行うが、参加人数が少ないことが課題である。	ハザードマップの作成に係る財政的な支援の強化。	L2(最大)	-	-	-	ハザードマップの更新に伴い、各戸に配布する際に内容、利用方法を説明するとともに、各地域毎の防災マップの作成について助言を行う予定。
			L1(計画)	○	○	○	
美郷町	防災マップの日頃からの確認及び実際に役立てるための意識浸透。	十分な財政支援	L2(最大)	○	×	○	
			L1(計画)	-	-	-	
羽後町	令和2年3月に最大浸水想定などを反映した「羽後町防災ハザードマップ」を更新し、全戸配布した。広報・町HP等で周知を行ってきたが、より効果的な周知方法を検討している。	・浸水想定区域の見直しの際のハザードマップ更新に係る財政的支援	L2(最大)	○	×	○	R2.3 羽後町ハザードマップを最大想定にて更新
			L1(計画)	-	-	-	
東成瀬村	平成30年2月に村版ハザードマップを作成して全戸配布しているが、実際にマップを必要とする災害が発生しておらず、必要性の認識を浸透させること。	災害についての積極的な情報発信活動を要望したい。	L2(最大)	-	-	-	
			L1(計画)	○	○	○	